

こもれび

2025 (令和7) 年 7 月 No.168

いのち、見つけた。

生き物のいのちは心臓に在るのか、
はたまた、脳に在るのか。

クラゲ（大小関係なく）には脳も心臓も無いけれども、生きている。人間は脳も心臓も有って、生きている。この両者に共通していることは生きていること。「生きていること」、つまり「いのち」は脳や心臓だけでは迎れないようだ。

毎朝、やさしいベルの音で、私を気持ちよく起こしてくれる目覚まし時計の丸いケースには、短い脚が四つ付いていて、文字盤や長針・短針をはじめ、中に詰まっているものは、歯車やネジなど。それらは個々では製品の体を成さないし、ましては動くことすらできない部品だが、設計図通り正確に組立てられ、電池を入れると動き出すのは、さしずめ時計自身の目覚めのようなのだ。

人間もまた、細胞、五臓六腑、骨や筋肉、脂肪、血液など、また身体、手脚、眼、耳、鼻、舌をはじめ、一つひとつで

はただの部位であるそれらが、正確に配置され、心の働きである感覚・記憶・意思・知識なども結び付けられ生きている。

そのように考えると、それぞれを結び付けているものが「いのち」といえるのかもしれない。個々の部位や意識などの一つひとつに唯一無二の役目があり、まさに神の仕業である。

「生き物のいのちは、その生き物すべてに在る」と答えたい。いのちは、一番近くに在っても直接見る事ができないが、しかし、もう既に見ているのである。

私たちは与えられた大切ないのちを生きている。やなせたかしの「アンパンマン」の主題歌の歌詞に「なんのために生まれて、何をして生きるのか」とある。これを自問することは人として至極当然のことながら、その命題は身が引き締まるほど厳しく、美しい。

株式会社 溝口祭典 溝口勝巳

溝口 由香利 / みぞぐち ゆかり

平成4年 結婚と同時に(株)溝口祭典役員となる
平成10年より 八王子市民生委員・児童委員、八王子市社会福祉委員
令和4年より 八王子市社会福祉協議会評議員
二児の母



食の思い出



第1回 たまご

溝口 由香利

毎日毎日、ここまで暑いと体力も消耗し、ご飯をあれこれ作るのはかなりきついです。ウーバーイーツでいいんじゃないかと、いうCMを横目で見ながら、冷蔵庫を覗いて、卵でいいんじゃないかとつぶやく私。卵は完全栄養食と言われるくらい良質なタンパク質、ビタミン、ミネラルなどをバランスよく含むのでまさに夏バテ予防にはもってこい！そして手抜き料理にはもってこい！の食材です。

庶民の味方であるはずの卵のここ数年の値上がりは痛手ですが、それでも牛乳などと同様に冷蔵庫にないと不安、あるとほっとします。夏の朝食に卵料理を加えるとその日は熱中症にならないで過ごせるような気がしたり、夕食にしても卵を使ったチャーハンやオムライスにすると、熱い火の前に立つ時間を短縮できるのと同時に、できあがりの見た目から暑さからくる昼間の疲れが一気に取れるような満足感を得られます。

さて、私の心の中には卵を食べる時に必ず思い出さずにはいられない胸がきゅん！となる出来事があります。小学校六年の時のことです。当時アメリカのオレゴン州に住んでいて現地の学校に通っていました。メアリーという友達とともに仲がよく放課後も毎日のように一緒に遊びました。決して裕福とはいえない彼女の家でしたが、家族全員がとにかく仲が良く、海の物とも山の物ともわからない外国人の私にも、家族同様に接してくれたメアリーのお父さんとお母さんの温かさややさしさは今でも忘れることはできません。

ある日のこと、いつものようにメアリーの家で遊んでいると夕飯をうちで食べていきなさいとお母さんが優しく言ってくれたのでお言葉に甘えてご馳走になってから帰ることにしました。

夕飯」というかけがえのない時間を優先してくれたのでした。そして間違いないお母さんのその選択はその後の私の心の財産のひとつとなりました。

ケチャップが大好きなのよ。あははは。」と大きな声で笑いながら冷蔵庫からケチャップを出してピッチャーにつぎ足してくれました。「夕飯が卵だけなのでがっかりしているのかと思ったわ」とも、「卵が嫌いなのかと思ったわ」とも一切言わずに、それはそれは嬉しそうにその後ろずいっとニコニコしていたお母さん。まだ小学生の私でしたが、その時のお母さんの心の奥の奥の気持ちが痛いほど解りました。家に帰ってから、先にケチャップなして食べて、後でかければよかったかなあと後悔したことを今でも覚えています。

この年齢になつて思うことは、あの時、お母さんは特に私を夕飯に誘わなくてもよかったはずだということです。メアリーは食べ盛りの弟たちも一緒にいたのですから、私に声を掛けないうちが家族の分が減らなくて済んだのです。でも子どもに深い愛情を注いでいたお母さんはメアリーと私の「友達と一緒に

朝ドラの「あんぱん」を楽しみで録画して観ています。衝撃的な卵のシーンがありました。駐屯地で食料が底をつき、正気を失った兵士が民家の女性に食べ物を出せと銃を向けるシーンです。女性は銃を向けられながらも落ち着いて、残っている最後の食料の産みだての卵を、空腹は人間を変えてしまうと云いながら如て差し出しました。空腹でむくことなどできず殺ごといさばる兵士達。ドラマの中のことでありますが、主人公はこの時の殺ごとの卵の美味しさとその女性の強さとやさしさを生涯忘れることができないうのだろなあと思いました。

大きな楕円形のテーブルにきれいに全員分のランチョンマットが並び、お皿とフォークが置かれ、中央の大きな皿にはスクランブルエッグが湯気を立ててこんもり。そばには小さなピッチャーに入れたケチャップも添えられていました。その大皿を順番にまわしてそれぞれ自分の皿に取り、クリスチャンのお祈りの後に皆が食べ始めました。お料理はそのスクランブルエッグと小さなパンだけです。私はフォークを手に取らずにじっと一点を見つめていました。お母さんが「どうしたの？食べなさいね。」と心配そうに、困ったように、切なさそうに、私の肩をやさしくばんばん叩くのと同時に私は待つてました！と言わんばかりにやっとまわりが取り終えたケチャップが入ったピッチャーを勢いよく手にとりました。私が必死で見つめていた一点とはそのピッチャーでした。メアリーのお母さんはそれを見て満面の笑みで「あらー！あなたもそうなのねー。メアリーも

食べ物と大にしなければならぬのは昔も今も同じですがさすがに殺までは食べる勇気はないので、せめて卵さん達に敬意を表して「きれいにするとわいてあげよう」と思った次第です。

【ゆで卵の殻をきれいにむく方法】

いろいろありますが、私がいつも使う方法は、

- ① マグカップの中にゆで卵と水を入れてラップで蓋をする。
- ② ラップの上を手でおさえて15秒くらい上下に強く振る。
- ③ ほどよいひびが入り、手でするりとむけます。お試しあれ！



今回は食の思い出第2回パンです。お楽しみに！

十代の頃から鎌倉に惹かれてもうすぐ半世紀。ぼけつつある頭を叱咤し、一昨年鎌倉検定三級を、昨年二級を取得。鎌倉に住みたいと思いつつも八王子から通いつける写真が趣味の昭和男子。 良縁地蔵



第一位 瑞泉寺 どこもく地蔵

瑞泉寺は市街から見ると北東の方向、荏柄天神や鎌倉宮を過ぎた紅葉ヶ谷にある由緒正しき名刹である。地名通り秋の紅葉が美しいが、春の梅や水仙、初夏の紫陽花なども美しく、長谷寺に負けず花の寺として名高い。また夢想国師の手による庭園も見事で国指定名勝になっている。本堂のご本尊釈迦如来座像を拝んだら、左手にあるのが地蔵堂である。鎌倉二十四地蔵の第七番。このお地蔵様に伝わる伝説が非常に含み深く、私は迷わず鎌倉お薦め地蔵の第一位にあげた。

昔、地蔵堂の堂主が貧しさのあまり逃げだそうとしていたら、夢枕にお地蔵様が現れて、「どこもく、どこもく」とお



鎌倉萌え散歩

第5回 鎌倉のお地蔵様

私は高校時代バレー部だったのだが、あのミューンヘン世代だったので、同級生の部員は多かった。その中にS君がいた。彼はバレーが上手だったのだが、背が足りずに控えに甘んじていた。いわゆるピンチサーバーである。チームがピンチになると懇々と奮闘してきて、我々を救ってくれた。彼のあだ名が「地蔵」だった。単に丸顔で目が細かったために先輩にその名を冠されたのだ。

と言う訳で、今回のお題はお地蔵様である。

身近な仏像として親しまれているお地蔵様は、正確には地蔵菩薩という。まだ修行中なので仏様とは呼ばれず、如来になると仏様になるらしい。お釈迦様の入滅後、何十億年もかけて弥勒仏が現れるまでの間、世の中に仏様がなくなってしまうので、その間衆生を救済することをお釈迦様から委ねられたという苦勞な菩薩である。

鎌倉には二十四地蔵巡りというものがある。他にも鎌倉には数字を付けた名所案内がたくさんあって、ちょっと思いつくのを上げただけでも、鎌倉五山、鎌倉七福神、鎌倉七口(切通し)、鎌倉十井、鎌倉十橋、鎌倉十三仏等々。一番数が多いのは鎌倉三十三観音だろう。お地蔵様は皆個性に富んでいて親しみ深いものばかりだが、二十四地蔵も含め全て紹介するのは無理。そこで例によって、またお薦めベスト三を選んでみた。

第二位 長谷寺 良縁地蔵

このお地蔵様は、おそらく長谷寺が観光用に作ったので、歴史的な重みはなさそう。しかし悔しいことに可愛らしいことこの上ない。萌え萌えキュン♡である。まんまと長谷寺の術中にはまるのも不本意だが、あまり良いことは言わずに、素直に良縁を願えば良い。仏像の写真をバチバチ撮るのは不謹慎だが、このお地蔵様はきつと許してくれる。

第三位 建長寺 地蔵菩薩

誰もが知る鎌倉五山の筆頭建長寺。北条時頼が創建した巨刹である。建長寺には鎌倉二十四地蔵の第九番心平地蔵、第十番斎田地蔵があるが、私のお薦めはご本尊の地蔵菩薩坐像である。仏殿に鎮座され、座っているのに高さが三・七四もあり、お地蔵様にしては相当大きい。また建長寺のご本尊が地蔵菩薩というのも珍しい。これは建長寺が出来る前、この場所が刑場だったそうで、その処刑された罪人の霊を弔うためらしい。仏殿の前には開山の蘭溪道隆お手植えの柏樹四本がそびえている。ただ残念なことに今年の春から仏殿の修復が始まり、二〇二七年までご本尊は直接拝むことが出来ない。垣根の外からの拝観になることをお許し頂きたい。



告げになったそう。これは「どこもく」の意味で、堂主は、「どこに行っても苦しみの同じだ」と悟り、その後は仕事に励んだという。衆生を救って下さるお地蔵様にしても夢も希望も無い、結構ひどい事を言っている気がするの私だけか。ブラックである。すぐに転職しちゃう今の新人社員が聞いたら何と思うのだろうか。しかし歳を取ると分かる。これが逃れられないこの世の真実であること。今の時代にも十分通じるお告げであることは間違いない。全く萌えないことをお詫言する。

鎌倉二十四地蔵の中には、他にも興味深い云われを持つお地蔵様が多い。円応

寺の託言地蔵、延命寺の身代地蔵等の話は結構面白いのだ。それらをあらかじめ知った上でお参りすると、気持ちも格別に高まることを請け合う。また鎌倉には二十四地蔵の他にも、多くのお地蔵様をそこに見つけることが出来る。我々になじみ深く、心を癒やしてくれるお地蔵様を巡って、萌え散歩を楽しんでみて欲しい。

最後になるが、同級生の「地蔵」ことS君は勉強が出来て、あの工大を卒業し、現在も弁理士としてバリバリ働いている。今だに年に一度の飲み会で会う度に、慈悲深い笑顔で我々同級生を朝地から救ってくれるのだ。

建長寺仏殿と柏樹

長谷寺山門と梅



—たくさんの「ありがとう」をお経にのせて—

今年も人形供養会を開催いたしました。

去る5月30日に弊社こすもす斎場にて人形供養会を開催いたしました。十数年ぶりの開催が5年前の令和3年。それから、多くの皆さんからの「次はいつやるの？」の声に押され、5年連続の開催となりました。

今年は68家族のご参加、700体のお人形、羽子板10枚、写真120枚が集まりました。ご自身が生まれた時にご両親から買ってもらったというお人形や、番犬代わりに置いてあったという等身大の本物そっくりの犬のぬいぐるみ、浦安にあるテーマパークで大人気のぬいぐるみ達、思い出がたくさん詰まったお人形やぬいぐるみが集まりました。

買った時の何十年も前のことをよく覚えてらっしゃって、受付をしている私たちに当時のことを話してくださる方など、それぞれの家族のお一人お一人に、それぞれのお人形との大切な思い出や物語があるのだなあとおつくづく感じた三日間でした。

昨年同様、導師を務めてくださった八王子市七国の法華寺様が、人形を持ち込まれた皆さんお一人お一人の名前を読み上げて、ご供養してくださいました。参列した多くの方から「こんなにきちんと供養してもらえるととは思わなかったのが本当に良かった」という感謝の言葉もいただきました。

当日5月30日はあいにくの雨模様で、人形供養会の参列者は12名でしたが、供養をする場面を見ていただいたことで、より一層安心してくださったのではと思います。

多くの方が、昨年同様「次はいつやるの？」という言葉を残して帰られましたので、来年も同時期の開催になるでしょうか。

当日の供養会の様子を動画で配信いたしますので、是非ご覧いただき、来年は一緒にご供養出来たらと思います。



動画配信



まちゼミでも好評 !!

「納棺セミナー」を
見てみよう。

まちゼミってご存知ですか？
商店主が主体となり、「専門店ならではの知識を無料で講義する事業」のことです。日本全国400か所以上の自治体で開催しており、八王子では、4月と10月の年2回、各お店で開催していて、今年の10月が24回目になります。弊社も他店には類を見ない「納棺セミナー」を取り上げ16回参加しています。

映画「おくりびと」で納棺師の存在がクローズアップされましたが、弊社の「納棺セミナー」では、現役納棺師が納棺の実演をいたします。内容は、納棺の簡単な手順を説明した後で、

- ・亡き人を御棺に納めるまえに、なぜ「旅支度」するのか？
 - ・なぜ、亡き人の体を拭くときに逆さ水を用意するのか？
 - ・亡き人ときれいなお別れができるようにするために納棺師は何をしているのか？
- 等々、納棺についてのたくさんの疑問にお答えします。

その後、ご遺体役の白装束を身に着けた人を実際に納棺しますが、そこで参加者の皆さんには遺族役で、ご納棺のお手伝いをしていただきます。

また、ご希望があれば参加者の皆さんがお棺に入る「入棺体験」もできます。内寸幅50センチくらいの御棺ですが、狭いながらも意外に落ち着けて快適とおっしゃる方が多いです。御棺に入り、フタをして、御棺の窓を開け、記念写真を撮る方もたくさんいらっしゃいます。

にっこりとピースサインをする方も…。亡くなってからでは、棺に入っても感想もなにもありませんが、「亡くなった人の気持ちになれるので、やってよかった。」、「こんなに丁寧に納棺してもらえるのであれば、自分や家族もそうしたい。」、「今までの人生を振り返って自然と涙が出てきた。」、「人生観が変わった!」という肯定的な意見の方がほとんどでした。遺族にならないと経験することができないご納棺の儀式を是非「納棺セミナー」で体験してみませんか。

日時	第1回 10月 4日(土) 午前10~11時 第2回 10月26日(日) 午前10~11時
場所	こすもす斎場(八王子市元横山町2-14-19)
定員	7名(まちゼミの定員です。お早めにお申し込みください)
講師	上原武史(式典部主任・一級葬祭ディレクター)
	お電話にて事前にお申し込みください。042-642-0921

セミナーのご案内

ご葬儀個別相談会

心配な人がいるけれど、何を相談したらいいのかわからない・・・そんな方のためにご葬儀の個別相談をお受けします。不安なこと・心配なことなんでも聞いてください。ご都合が合わない方は、別の日時でもお受けします。遠慮なくご連絡ください。

第1回	8月24日(日) 午前11～12時・午後1～2時
第2回	8月30日(土) 午前11～12時・午後1～2時
定員	各時間帯3組まで

「葬儀保険ってどんなもの？」 ～葬儀費用と葬儀保険について～

お葬式はいくら位かかるの？など、よく尋ねられる疑問にお答えしながら、葬儀費用についてご案内すると共に、弊社で扱っている「葬儀保険」についてもご説明いたします。希望者には、事前に生年月日をお伺いして計算書を当日お渡しすることも可能です。

日時	9月17日(水) 午前10～11時
定員	10名
講師	上原 武史（式典部主任・一級葬祭ディレクター）

「人生観が変わるかも！入棺体験」 ～ 現役納棺師が葬儀や納棺について教えます ～

葬儀における納棺の実演や、納棺に関する様々な疑問・質問にお答えします。希望者は実際にお棺に入る入棺体験も可能です。ご納棺の儀式を是非体験してみませんか。6ページの記事をご覧ください。

第1回	10月4日(土) 午前10～11時
第2回	10月26日(日) 午前10～11時
定員	各回7名 まちゼミにも参加しています！

無料セミナーはお電話で、事前にお申込みください

会場：**こすもす斎場**（八王子市元横山町2-14-19）

TEL.042-642-0921 株式会社 溝口祭典